

はじめに

西脇市は、加古川、杉原川、野間川をはじめとする豊かな水環境があり、平野部には田園風景が広がり、周囲は緑の山々に囲まれています。この豊かな自然環境の中で、播州織や釣針といった地場産業の興隆、また、和牛の生産と田畑の有機土壌化の推進など、農業の振興により発展してきました。

私たちは、日々の暮らしや経済活動において資源を大量に消費することによって物質的な豊かさを得てきました。

一方、その発展の陰で、廃棄物の増加、動植物の生態系への悪影響及び地球の自浄能力を越えた温室効果ガスを排出してきたことによる地球温暖化などの環境問題を引き起こしてきました。

これらの環境問題に対処していくため、「低炭素社会」、「循環型社会」、「自然共生社会」づくりを進め、環境への負荷が少ない持続可能な社会を構築していく必要があります。

今を生きる私たちは、西脇市の自然豊かな環境を維持するだけでなく、より良いものとして将来の世代に引き継いでいくことが責務であります。

このような認識のもと、市の環境施策を総合的かつ計画的に進めていくための指針として、新たに「西脇市環境基本計画」を策定しました。

この計画に掲げる望ましい環境像『光・風・水の織りなす いのち輝くまち にしわき—未来へつなぐ 環境都市を目指して—』の実現に向け、市民、事業者及び市が連携を強め取り組んでまいりたいと考えています。

最後になりましたが、本計画の策定に当たり、熱心に御審議いただきました西脇市環境審議会の委員をはじめ、市民ワークショップに御参加いただいた方々、御協力いただきましたすべての方々に心から御礼を申し上げます。

平成 23 年 12 月

西脇市長 來住壽一